

地域で見守る 子どもの成長

子どもの居場所づくり事業

小学校の放課後や休日に、子どもと大人が楽しく過ごしながら、地域で子どもたちを見守る取り組みを行っています。

問い合わせ 青少年課（市庁舎3階、☎65・4162）

「子どもの居場所づくり」の取り組みは、小学校の放課後や休日に、子どもたちが安全に、安心して過ごせる居場所を設け、異学年の友達との遊びや、地域の人との交流を通じて、人付き合いや社会のルールなどを学ぶ機会を提供しています。

交流を通じた「見守り活動」

地域のボランティアやNPO法人の運営により、昨年度は延べ5000人を越える地域の皆さんがボランティアスタッフとして参加し、延べ2万人を越える子ども

たちとの「遊び」と「学び」を通じた見守り活動が行われました。さまざまな体験を提供

体育館を利用した自由遊びや、夏祭り、餅つきなどの季節の行事のほか、さまざまな工作や文化体験など、地域の人が自由な発想で、子どもたちに貴重な体験の機会を設けました。

市内全小学校で実施

市内全小学校で実施しています（表）。在学している児童なら、学年を問わず参加できます。

表 子どもの居場所づくり事業実施状況

実施小学校	事業名	実施日/回数(予定)
つつじが丘	つつじっ子クラブ	月・水曜/毎週 土曜/月1~2回
光南	光南キッズ	土曜/月1回
東	東っ子クラブ	月曜/月1回 土曜/月1回
帯広	すきっぶ帯小夢教室	水・金曜/毎週 土曜/月2回
緑丘	みどりっこクラブ	月・水・土曜を 中心に月4回
若葉	若葉あそびば	土曜/月1~2回
啓北	啓北きっず	水曜/月2回 土曜/月1回
明和	和っ子クラブ	土曜/月1回
栄	栄っ子ふれあいひろば	月曜/月1回 土曜/月2回
川西	川西わくわくランド	月曜/月1回
北栄	北栄げんきクラブ	土曜/月2回
開西	開西LaLaクラブ	水曜/月1回 土曜/月1回
大空	おおぞらっ子クラブ	月曜/月1回 土曜/月1回
西	西ハルニレひろば	水曜/月1回 土曜/月2回
明星	明星☆星の子ランド	月曜/月2回 土曜/月1回
稲田	いなっ子ワールド	月曜/月1回 土曜/月1~2回
森の里	どんぐりの森	月曜/月1回 土曜/月1回
柏	柏・どんぐり塾	月曜/月1回 土曜/月1回
広陽	さんさんパーク	水曜/月1回 土曜/月1回
花園	花園わいわいパーク	水曜/月1回 土曜/月1~2回
豊成	きかんこくらぶ	月・水・土曜を 中心に月4回
啓西	啓西ぼけっと	土曜/月3回
大正	大正小であそぼう	平日/年4回 土曜/月2回
愛国	愛国小であそぼう	平日/年4回 土曜/月2回
清川	清川小であそぼう	平日/年4回 土曜/月2回
広野	広野小であそぼう	平日/年4回 土曜/月2回

帯広市 子どもの居場所づくり 検索



地域の皆さんと餅つきを体験

詳細は、学校で配られるチラシや市ホームページをご覧ください。青少年課に問い合わせください。

ボランティアスタッフを募集

一緒に子どもたちを見守るボランティアスタッフを募集しています。月1回でも構いません。都合の良い時に参加してください。普段なかなか子どもと一緒に遊ぶ機会が少ない保護者の人や、子どもたちと遊びを楽しみたい人、少し時間に余裕ができた人など、興味のある人は、気軽に問い合わせください。

妊娠・出産を サポート

妊娠・出産・育児への支援制度

今年4月から一部の支援制度を拡充したほか、6月からは新たに妊娠・出産サポート事業を開始します。

問い合わせ 子育て支援課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9722）

帯広市 妊娠・出産サポート 検索

市では、妊娠や出産を望む夫婦の経済的な負担を軽減するため、4月から、不育症治療費の助成を開始したほか、特定不妊治療費の助成対象を拡充しました。

6月からは、妊娠・出産サポート事業として、妊産婦の相談支援や産後早期の育児サポートを行う「産後ケア」の取り組みを開始します。詳細は問い合わせください。

新規 不育症治療費の助成

不育症^{※1}の治療に要した費用の一部を助成します。

対象者 北海道不育症治療費助成事業の助成決定を受けた人

助成金額 治療に要した費用から、北海道不育症治療費助成事業で受けた助成金を差し引いた金額に対して、1回の申請につき5万円を上限

申請方法 申請書と請求書に必要な事項を記入の上、①と②を添付して、子育て支援課に持参してください。申請書と請求書は、子育て支援課で配布しているほか、市ホームページからも印刷できます。

①北海道不育症治療費助成事業の助成決定指令書、受診等証明書の写し

②印鑑と助成金の振込口座が分かるもの

拡充 特定不妊治療費の助成

体外受精および顕微受精を受けていて、北海道の助成決定を受けた人などが対象となります。

今年度から助成対象を拡充し、第2子以降の治療を行なう場合にも、治療の対象となる子どもごとにも、治療開始時点の妻の年齢が40歳未満のときは通算6回、40歳以上のときは通算3回まで助成が受けられます。助成金額は、治療に要した費用から、北海道特定不妊治療費助成事業で受けた助成金を差し引いた金額（43歳以上は市の助成のみのため治療に要した費用）に対して、1回の申請につき7万5000円を上限とします。また、特定不妊治療に至る過程の一環として男性不妊治療^{※2}を行った場合は、1回の申請につき7万5000円を上限に助成します。

新規 妊娠・出産サポート

ママと赤ちゃんの相談会

地域子育て支援センターや保健

福祉センターで、専門職による講話や、妊婦・育児中の母親の相談に応じます。妊娠や出産への不安、産後の不調や育児の悩みなどがある人は、ぜひ利用してください。7月以降の日程などは、市ホームページなどでお知らせします。

対象者 ①第1子を妊娠中の人、②第1子で1歳までの赤ちゃんとの保護者

時間 いずれも10時~11時10分

定員 ①のみ先着5人

申し込み ①のみ直接または電話で各地域子育て支援センターに申し込みください。

開催日	講座名・会場
6月12日(月)	ママと赤ちゃんのわくわく母乳講座(助産師) 地域子育て支援センターすずらん(柏林台西町5、☎36・2388)
6月20日(火)	ママと赤ちゃんの歯っぴい講座(歯科衛生士) 地域子育て支援センターもりのこ(大空町1、☎49・2005)
6月27日(火)	ママと赤ちゃんの食事講座(栄養士) 地域子育て支援センターつばさ(西22南3、☎41・6800)

産後ケア事業

「出産後、自宅に帰っても相談する人がいない」「授乳がうまくできない」など、出産後の支援が必要な人が、医療機関などに日中滞りして、助産師などから授乳の相談や育児のサポートなどを受けられることができます。

保健師などが面接した上で、申請を受け付けます。詳細は子育て支援課に問い合わせください。

対象者 家族からの支援を受けられず、心身の不調や育児不安がある産後57日未満の母親と乳児

※1 不育症…妊娠はしても、流産・死産や新生児死亡など繰り返して、子どもを持っていない状態(参考:厚生労働省研究班) ※2 男性不妊治療…精子を精巣または精巣上体から採取するための手術